

かわさき区の宝物シート

宝物No.
24-3

しんたいせんきょう
新大扇橋



写真提供：JFEスチール（株）東日本製鉄所

エリア	田島地区	シーズン	—
	浅野・南渡田～扇町	日時	—

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input checked="" type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input checked="" type="checkbox"/> 港めぐり
	<input type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物

所在地	川崎区浅野町・扇町（JFEスチール(株)東日本製鉄所敷地内）
問い合わせ	JFEスチール（株）東日本製鉄所
TEL	044-322-1111
FAX	
E-mail	
URL	http://www.jfe-steel.co.jp/works/east/keihin/ （JFEスチール(株)東日本製鉄所・京浜地区HP）
交通	



基礎情報

- 浅野運河の入口に位置するJFE東日本製鉄所（旧NKK）所有の現存の跳ね橋。運河を船が航行するときにサイレンとともに橋が上がる仕組み。長さ84メートルで60トン級のトレーラーが通行できる強度を誇る。
- 現役で稼働する跳ね橋は全国でも非常に珍しく、大変貴重なもの。橋全体が持ち上がるものは全国でも10橋しかない。多摩川の大師橋や六郷橋、横浜ベイブリッジなどとともに「かながわの橋100選」（県内市町村と県民から募集し平成3年(1991)1月に決定）に選定されている。

由来・エピソード

- 旧NKK構内の溶鉱炉から出た溶銑を鉄道貨車で運ぶための可動式跳ね橋として昭和14年(1939)に架橋された。構内の大島地区と扇町地区を結ぶことから両地区の頭文字をとり「大扇橋」と名づけられた。その後も通過する車両の大型化やトラック輸送化などに対応するため、2回の改造・改修を経て、昭和59年(1985)には老朽化のため全面改修が施され「新大扇橋」と改称された。
- 船舶の航行は日に2～3回程度（不定期）で、船から新大扇橋の脇に大きく書かれた電話番号に連絡すると、サイレンが鳴り、信号機と遮断機で交通を止め、巨大なジャッキによって約10分をかけて橋が持ち上げられる。

補足・その他

- 非公開。

関連シート

- (24-1)アウマンの家と門柱
- (27-1)JFE歴史資料館
- (28-2)川崎港・運河